

アリババグループADR(BABA)

【セクター】 インターネット

【市場】 NYSE

【企業概要】

中国最大のeコマース企業で、CtoCの「淘宝网（タオバオ）」、BtoCの「天猫（Tモール）」が主力サイトです。検索連動広告やディスプレイ広告による販売促進に対する対価のほか、Tモールでの売上に対する手数料が主な収入です。クラウドサービスを展開するほか、東南アジアのeコマース「Lazada」、食事宅配の「ウーラマ」、オンライン動画の「優酷土豆（ヨウク・ツドウ）」などを所有します。スマホ決済システム「アリペイ」や資産運用サービス「余额宝（ユエバオ）」を擁するアント・ファイナンシャルがグループ企業で、株式の33%を保有します。

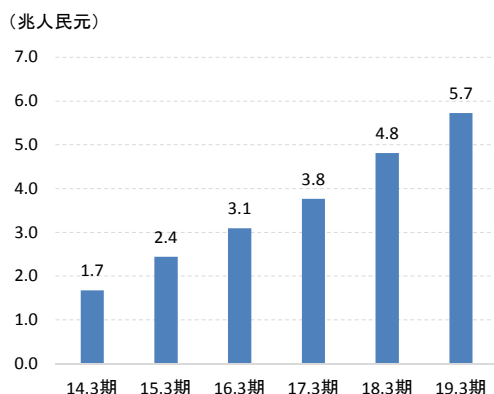
【業績】（単位：売上、純利益は百万人民元、EPS、DPS、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
18年3月期	250,266	66,915	25.63	0.00	142.2	20.8	61.3
19年3月期	376,844	55,142	21.01	0.00	190.4	12.9	63.8
20年3月期予想	509,709	120,781	47.85	0.00	248.2	17.6	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 商品総取扱高



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

図表2 事業別売上構成（19年3月期）

事業名	売上構成(%)
コア・コマース	85.8
中国コマース(リテール)	65.7
海外コマース(リテール)	5.2
中国コマース(ホールセール)	2.7
中国物流サービス	3.9
海外コマース(ホールセール)	2.2
ローカル消費者サービス	4.8
コマースその他	1.1
クラウドコンピューティング	6.6
デジタルメディア&エンタテインメント	6.4
イノベーション・イニシアチブほか	1.2

（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

世界最大と考えられる中国の巨大なeコマース市場でトップの地位を確保して高成長を遂げてきましたが、今後は成長が徐々に鈍化していくと見込まれます（図表1）。このため、リアル店舗への展開、海外でのeコマースやeコマース以外の事業展開が将来の成長を支える事業として注目されます（図表2）。また、コア・コマース以外の部門はいまのところ営業赤字ですが、これらがいつ利益貢献してくるか注目されます。20年3月期の売上ガイダンスは前年比33%増の5,000億人民元以上として、成長鈍化は限定的と想定しています。

【見通し・注目点】

18年3月期に株式の33%を取得した金融サービス会社アント・ファイナンシャルは株式公開の意向があるとされ、同社株価のカタリストとして注目できるでしょう。同社は、アリババサイトで決済サービス（エスクローサービス）を提供して創業した会社で、現在では中国で広く普及するスマホによる決済システム「アリペイ」、資産運用サービス「余额宝（ユエバオ）」、信用評価システムの「芝麻信用（ゴマシンヨウ）」などを擁し、直近の資金調達時の時価総額は1,500億ドルに達したとされます。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 19/8/21）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。